

(仮称)江戸川区立日光林間学校 整備指針の概要

はじめに

老朽化を理由に閉校した林間学校だが、3つの視点から再建の検討を開始

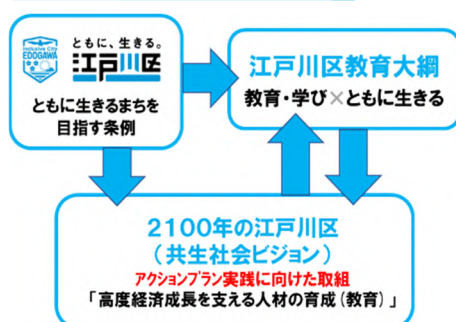
【児童・生徒視点】非日常体験や体験格差の是正など

【保護者視点】費用負担の抑制など

【教員視点】教員負担の軽減など

⇒「児童・生徒の経験や思い出になる施設」を目指し、学校利用の無い日は団体等の合宿利用や、家族・仲間同士での利用等もできる施設として検討を進めていく

I 本書の位置づけ



※整備指針:今後の事業の根幹となる[理念][方針]
≒基本構想

II 敷地概要

所在地:日光市所野 1541-2
敷地面積:29,861 m²



III 整備指針

【施設の基本方針】

<施設のコンセプト>

- ・規律や協同を学び、自立心を育てる
- ・日光の大自然に接し、感性を磨くことができる
- ・普段の学校生活では得られない体験ができる
- ・様々なチャレンジができ、成功体験ができる
- ・日光周辺の歴史や文化に触れられる
- ・施設内で様々な体験活動ができる
- ・移動教室以外の用途でも利用できる

【運営の基本方針】

<基本方針①>

「非日常的な体験活動の機会を企画・運営する」

<基本方針②>

「学校利用の無い日はたくさんの方々が様々な用途で利用できる施設を目指し、サービス提供と財政負担のバランスを考慮した運営を図る」

IV 要件整理

現所在地において、林間学校として区内の小中学生が利用することを主目的とし、学校利用の無い日は区民等も利用できるような汎用性のある施設として改築することを目指す。

【想定規模】 宿泊定員:300人程度、延床面積:6,000~6,500 m²程度、階数:3階建程度

【屋内】

児童・生徒用客室、教員用客室、屋内運動場、ホール、食堂、大浴場、小浴場、保健室、会議室、事務室、従業員休憩室(兼打合せ室)、共有洗面所、防災備蓄倉庫 ほか

【屋外】

- ・飯盒炊飯場 兼 バーベキュー場
- ・キャンプファイヤー場 兼 グラウンド
- ・自然体験小屋

本計画は、SDGsの目標を意識し、さまざまな課題に取り組んでいます。

